

令和3年度

宗谷シーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見	報告年月日:2022/3/31
--------------------	-----------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針 (H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R3年度					活動状況資料番号	総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数			
宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用	①宗谷らしい景観や環境が体感できるポイントの創出と磨き上げ	秀逸な道(宗谷周水河ロード) 景観診断の実施	稚内開発建設部	R3.10.11	19名	SY — 7	秀逸な道(宗谷歴史ロード)の清掃活動や秀逸な道(宗谷周水河ロード)の景観診断を実施した。次年度は秀逸な道(宗谷周水河ロード)の活動を展開していく。	
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
	②地場産業との連携による景観・環境の保全	—	—	—	—	—		—
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
③景観を美しくみせ、環境を守る清掃活動	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—			
秀逸な道(宗谷歴史ロード)清掃活動	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	R3.10.11	62名	SY — 6	—	—		
	—	—	—	—	—			
④景観や環境を保全するルールづくり	—	—	—	—	—	—		
⑤フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止と駆除活動	—	—	—	—	—	—		
住む人と来る人(交流人口)の幸せを共感できる環境づくり	③おもてなしを演出する春・夏・秋の季節に応じた植栽活動	—	—	—	—	コロナ禍のため宗谷エリアを来訪する旅行者が減少している。アフターコロナに向けて、旅行者と地域住民を繋ぐ仕組みや環境づくりを模索し、宗谷のおもてなし向上を目指す。		
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
	④アイスクャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩りの演出	—	—	—	—		—	
		—	—	—	—		—	
	⑤流木を活用したプランターづくり	—	—	—	—		—	
		—	—	—	—		—	
景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用 へ	—	—	—	—	—			
情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—			
景観・環境に関わる活動 方針③次世代が安心して豊かな生活がおくれる地域づくり へ	—	—	—	—	—			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見	報告年月日:2022/3/31
--------------------	-----------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R3年度					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
環境	住む人と来る人(交流人口)の幸せを共感できる環境づくり	①住民と観光客が双方プラスになる宗谷エコレージなどのプログラムの推進	-	-	-	-		コロナ禍のため宗谷エリアを来訪する旅行者が減少している。アフターコロナに向けて、旅行者と地域住民を繋ぐ仕組みや環境づくりを模索し、宗谷のおもてなし向上を目指す。
			礼文島リボンプロジェクト	礼文島観光協会	通年	-		
			利尻山コマドリプロジェクト	利尻山登山道等維持管理連絡協議会	通年	-		
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用 へ	-	-	-	-		
		②CO2を削減するシーニックの森等の植栽活動の推進	-	-	-	-		
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用 へ	-	-	-	-		
			-	-	-	-		
			-	-	-	-		
	次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり		-	-	-	-		コロナ禍のため対面による勉強会や教育活動などは実施できない状況であった。今後も宗谷地域らしい地域づくりを模索していく。
		①宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	-	-	-	-		
			-	-	-	-		
			-	-	-	-		
		②地域の将来を担う子供たちへの教育活動	-	-	-	-		
		③地域コミュニケーション形成のため、ボランティアの育成	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見	報告年月日:2022/3/31
--------------------	-----------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R3年度					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
情報	特異な地理条件(利尻・礼文)を克服する情報発信	①観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	-	-	-	-	-	道北のシーニックバイウェイルートが連携したフォトコンテストの開催や入選作品のパネル展を実施した。今後はアフターコロナに向けて、美しいみちに関する情報発信の強化を目指す。
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-	-	-	-	-	
		⑤宗谷らしいシンボリックなデザインの提案	-	-	-	-	-	
		④ルート及び情報発信場所における看板等の設置	-	-	-	-	-	
		②既存ツール(ネットやSNS)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信の充実	道北ルート連携フォトコンテストのパネル展の開催	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員	道の駅「北オホーツクはまどんべつ」R3.6.14~6.25 稚内地方合同庁舎R3.8.2~8.13 豊富町「ふらっと★きた」R3.8.16~8.27 稚内市「キタカラアトリウム」R3.8.30~9.6 稚内市立図書館R3.2.8~2.18	-	SY — 2	
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-	-	-	-	-	
		③オンラインワンな情報発信内容・方法の提案	道北ルート連携フォトコンテストの開催	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	R3.6.1~9.30	応募作品数348作品	SY — 1	
	-	-	-	-	-			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見	報告年月日:2022/3/31
--------------------	-----------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針 (H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R3年度					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
観光		①空港やフェリーターミナルなどの宗谷の玄関口におけるおもてなしの演出	-	-	-	-	-	きた北海道エコ・モビリティ事業として、天塩川シーニックバイウェイと連携し人力の移動と公共交通を組み合わせた周遊観光のエコモビリティ観光の推進を過年度から展開しているが、コロナ禍のためイベント等は中止となった。一方で、新たにサイクルバスの取り組みを展開している。今後は、サイクルバスの活用を充実する。
		②宗谷らしさが体感できる参加型・体験型のメニューづくり	宗谷サイクルバスを活用したモニターツアーの実施	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	R2.10.7~10.9	8名	SY — 5	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
		④景観や環境が体感できるポイントの活用とルートづくり	秀逸な道(宗谷周氷河ロード) 景観診断の実施	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	R3.10.11	22名	SY — 7	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
		③物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり	-	-	-	-	-	
-	-		-	-	-			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見	報告年月日:2022/3/31
--------------------	-----------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	R3年度					総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
観光			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
			きた北海道ルートサイクルーツリズム連絡会議 宗谷地区部会の開催	稚内観光協会、宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、稚内観光協会	R3.10.19 R3.12.10	約30名			
		⑦外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	-	-	-				
	情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化	①分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり	-	-	-	-			
			-	-	-	-			
			-	-	-	-			
		②地域の課題を共有し解決策などを考える勉強会やシンポジウムの開催	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-		
③地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	-	-	-	-					

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北ルート連携フォトコンテストの開催（継続）

- 【概要】 大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルートとのルートを跨いだフォトコンテスト。平成29年度から天塩川ルートも加入した。7年目の開催。
- 【応募期間】 令和3年6月1日～9月30日
- 【主催】 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会

チラシ

【グランプリ・宗谷シーニックバイウェイ】 前田 賢一

作品名：早春の逆さ富士
撮影地：豊富町

【ルート賞・宗谷シーニックバイウェイ】 新家 由加里

作品名：輝く日 白い道で
撮影地：稚内市

これまでの応募作品数

ルート名	応募作品総数								
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
大雪・富良野ルート	35	49	69	23	58	71	88	95	
宗谷シーニックバイウェイ	38	49	95	40	35	80	76	148	
萌える天北オロロンルート	44	51	43	29	31	55	72	61	
天塩川シーニックバイウェイ	-	-	-	-	7	48	46	44	
対象外	3	9	6	0	2	0	0		
合計	117	149	213	92	133	254	282	348	

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北ルート連携フォトコンテストのパネル展の開催（継続）

- 【概要】 道北ルート連携フォトコンテストや道北の美しい風景をPRするために、フォトコンテストの入選作品のパネル展を開催した。
- 【主催】 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会
- 【開催場所】 道の駅「北オホーツクはまとんべつ」、稚内地方合同庁舎、豊富町「ふらっと★きた」、稚内市「キタカラアトリウム」

パネル展開催日程

開催箇所	日程
道の駅「北オホーツクはまとんべつ」	6/14～6/25
稚内地方合同庁舎	8/2～8/13
豊富町「ふらっと★きた」	8/16～8/27
稚内市「キタカラアトリウム」	8/30～9/6

稚内市「キタカラアトリウム」



道の駅「北オホーツクはまとんべつ」



豊富町「ふらっと★きた」



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻島での自転車・バスの周遊観光実験（継続）

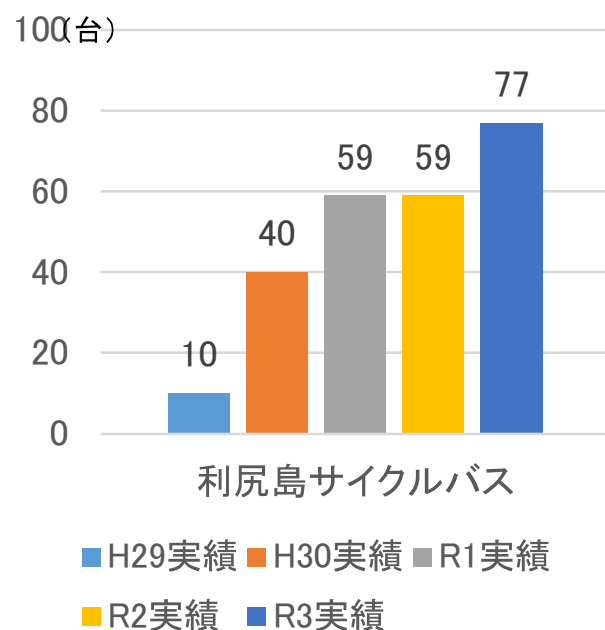
【概要】 絶景と約25kmにも渡るサイクリングロードを有する利尻島を、サイクリング適地と位置づけ、ライト層であっても気軽に利尻島約60kmを1周できる仕組みづくりを行う。平成29年度の実証実験を経て、平成30年度から本格的にサービスが開始した。

【実施期間】 令和3年4月21日～10月31日（194日間）

【自転車積載回数】：77台回

※H29実績 12台回（平成29年8月1日～10月31日）、H30実績 40台回（平成30年4月21日～10月31日）、R1実績 59台回（令和元年4月21日～10月31日）、R2実績 59台回（令和2年4月21日～10月31日）

サイクルバス利用者の変遷



自転車を積載している様子



車内で掲示されている利用案内



自転車を固定している様子

宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：宗谷サイクルバス見学会の開催

- 【概要】 宗谷管内のサイクルツーリズム推進を目指し、路線バスの後部座席を改造し自転車をそのまま積載できるようにした「宗谷サイクルバス」を新たに導入した。サイクルバスを広く周知するために、2箇所にて見学会を開催した。
- 【日程】 令和3年7月15日（木）
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ
- 【場所】 9時～10時/稚内市役所前 11時～12時/稚内開発建設部
- 【参加人数】 72名

＜稚内市役所での開催の様子＞



＜稚内開発建設部での開催の様子＞



宗谷シーニックバイウェイ

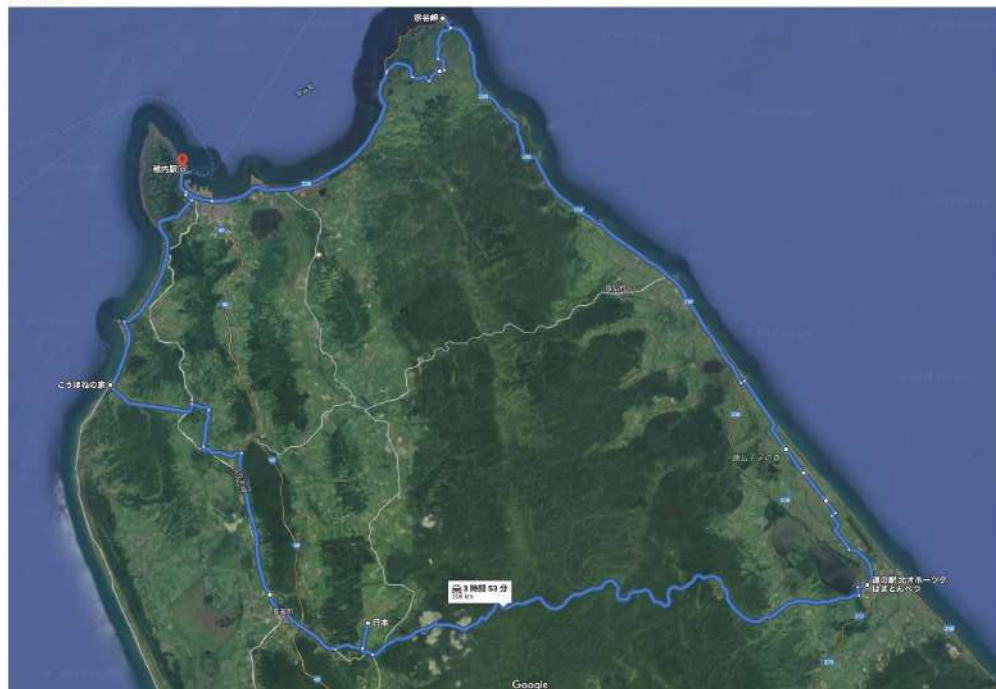
SOYAScenic Byway

活動名：宗谷サイクルバスを活用したモニターツアーの実施

- 【概要】アフターコロナの観光メニューとして、宗谷北部に点在する国内でも秀一な「絶景道路」を、サイクルバスを活用しながら自転車で走破する「新しいtabi」の創出を目指し、『最北のみち四景ライド・ツアー』商品化モニターを実施
- 【実施期間】令和3年10月7日～9日
- 【主催】天塩川シーニックバイウェイルート・宗谷シーニックバイウェイルート
- 【ルート】稚内バスターミナル（JR稚内駅）スタート～オロロンライン（自転車）～豊富町大規模草地（自転車）～猿払村エサヌカ線（自転車）～宗谷岬～宗谷丘陵・白い道（自転車）～稚内バスターミナル

全体地図

全体地図



モニターツアーの様子



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：秀逸な道（宗谷ヒストリーロード）清掃活動（継続）

【概要】 国道238号「秀逸な道」声問区間における沿線の美化活動。令和元年度から実施し、令和3年度で3回目となった。秀逸な道の清掃活動には、山本建設(株)、稚内印刷(株)、稚内ロータークラブ、稚内信金、稚内市、稚内開発建設部の62名が参加した。

【日時】 令和3年10月11日

【場所】 稚内市声問



清掃活動の様子



集合写真



宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：秀逸な道（宗谷周氷河ロード）景観診断の実施

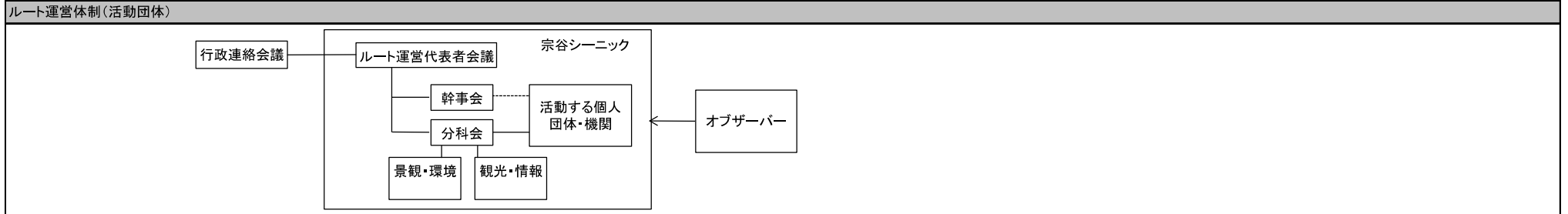
- 【概要】 国道238号「秀逸な道」宗谷周氷河ロードの景観上の課題等を把握するために、道路管理者と地域関係者による景観診断を実施。秀逸な道区間の白い道については、自転車と徒歩による診断を実施し、景観の現状と課題を調査した。
- 【日時】 令和3年10月11日
- 【場所】 国道238号「秀逸な道」宗谷周氷河ロード



3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 中場 直見	報告年月:2022/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

活動団体
 NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー／猿払イトウの会／宗谷建設青年会／未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会／利尻島を考える会／利尻富士町宿泊業組合／稚内観光協会青年部／稚内商工会議所／稚内青年会議所／稚内のみなとを考える女性ネットワーク／稚内ホテル旅館業組合／稚内みなとまちづくり懇談会／フラワーマスター稚内／稚内市歴史・まち研究会／稚内観光協会／豊富町観光協会／猿払村観光協会／利尻富士町観光協会／利尻町観光協会／礼文島観光協会／宗谷バス株式会社／ハートランドフェリー株式会社／NPO法人 クッチャロ湖エコワーカーズ／浜頓別町観光協会／浜頓別町商工会 (計25団体)



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議													コロナ禍により円滑に会議が開催出来ない状況であった。宗谷地域のサイクルツーリズムや地域連携DMO設立に向けた地域の動きと合わせて会議等を開催してきた。
	幹事会													
	道北版スイス・モビリティ関連事業							きた北海道ルートサイクルツーリズム連絡会議 宗谷地区部会		きた北海道ルートサイクルツーリズム連絡会議 宗谷地区部会				
	その他													

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2022/3/31
--------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施												○ 3/14	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 稚内開発建設部	報告年月:2022/3/31
--------------------	--------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	令和元年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
景観・環境	宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用	秀逸な道(宗谷歴史ロード)清掃活動	R3.10.11	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	国道238号「秀逸な道」声間区間における沿線の美化活動。多くの方が参加するとともに、秀逸な道のPRIにもなった。	秀逸な道の2区間について、地域と連携・協働し、宗谷らしい景観を守り・育てる取組を推進していく。	SY-5
		秀逸な道(宗谷周水河ロード)景観診断の実施	R3.10.11	稚内開発建設部	秀逸な道(宗谷周水河ロード)の景観診断を地域と共同で実施し、景観の課題や活用の方向性を検討した。		SY-7
情報・観光	特異な地理条件(利尻・礼文)を克服する情報発信	道北ルート連携フォトコンテストの開催	R3.6.1~9.30	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	大雪・富良野ルート、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイと連携したフォトコンテスト。今年度はコロナ禍のため過去に撮影した写真も応募可としたためか、これまでで最も多い348作品の応募があった。	ルート内の美しい風景写真を通して、宗谷シーニックバイウェイの情報発信を強化する。	SY-1
		道北ルート連携フォトコンテストのパネル展の開催	道の駅「北オホーツクはまもとんべつ」 R3.6.14~6.25 稚内地方合同庁舎 R3.8.2~8.13 豊富町「ふらっと★きた」R3.8.16~8.27 稚内市「キタカラアトリウム」R3.8.30~9.6 稚内市立図書館 R3.2.8~2.18	道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	道北ルート連携フォトコンテストのPRや道北の美しい風景をPRするために、過年度のフォトコンテスト入選作品のパネル展を開催した。住民や旅行者が集まる場所で、パネル展を開催することで、多くの方にPRすることができた。		SY-2
	フットバスやサイクリングなど新たなツーリズム創出	道北版スイス・モビリティ関連事業「利尻島での自転車・バスの周遊観光実験」	R3.4.21~10.31	宗谷バス(株)	自転車をそのまま積載できる「サイクルバス」を利尻島の路線バスとして運行した。本格運行が今年度で4年目となり、島内にサイクルバスが定着しつつある。コロナ禍であったが、過去で最も多い77名台の利用があった。	サイクルツーリズムを中心に、宗谷管内の新たなツーリズム創出を目指す。	SY-3
		宗谷サイクルバス見学会の開催	令和3年7月15日	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	新たに導入した宗谷サイクルバスの見学会を稚内合同庁舎駐車場及び稚内市駐車場で実施した。		SY-4
宗谷サイクルバスを活用したモニターツアーの実施	R3.10.7~10.9	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	アフターコロナの観光メニューとして、宗谷北部に点在する国内でも秀一な「絶景道路」を、サイクルバスを活用しながら自転車で走破する「新しいtabi」の創出を目指し、『最北のみち四景ライド・ツアー』商品化モニターを実施した。	SY-5			
きた北海道ルートサイクルツーリズム連絡会議 宗谷地区部会の開催	R3.10.19 R3.12.10	稚内観光協会、宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、稚内観光協会	きた北海道ルートにおける宗谷地区のサイクルツーリズムを推進するために、宗谷地区部会を開催した。2回目の地区部会を開催し、宗谷管内のサイクルツーリズム現状を関係者と共有した。				